

## 第5回山口県小学生クロスカントリー大会 競技注意事項

本大会は 2024 年度日本陸上競技連盟競技規則・同駅伝競走基準並びに本大会規定による。

### 1 出場競技者について

- (1) 受付は、7 時 30 分より行います。
- (2) 男・女リレーは、監督 1 名、競技者男子 5 名・女子 5 名とし、申し込み後の区間変更は認めない。(男女混合の場合は男子の部とする。)  
(5 年・6 年が 3 名以上いること、足らない場合 4 年でも良い。)
- (3) 大会当日のリレーオーダー変更はチーム内よりその区の交代として補充し、競技者の変更を 8 時 15 分までに大会本部に申し出ること。
- (4) 個人種目欠場は、受付時欠場届提出のこと。それ以後は、競技者係に提出のこと。

### 2 アスリートビブスについて

- (1) リレーについては、受付時に主催者が用意したアスリートビブスとタスキを配布する。(走り終えたらまとめて本部にアスリートビブス、タスキを返却すること。)
- (2) 学年別の部は、小陸協登録個人のアスリートビブスを胸・背につける。

### 3 競技者の点呼方法及び招集時刻について

- (1) 招集所は運動広場南側の芝生付近に設ける。
- (2) 招集は、出走の 30 分前に開始し 15 分前に完了する。その後は招集場所を離れないで役員の指示に従う。
- (3) 招集時刻に送れた場合棄権となる場合がある。
- (4) リレーについては、チームごとにアスリートビブス番号の若い順に 1 走～5 走点呼を受ける。

### 4 競技について

- (1) 競技者は、陸上競技場外では、係員の指示に従って走行すること。  
陸上競技場内(運動広場)中継所等の走行についても審判員の指示に従うこと。
- (2) スパイクは、使用禁止です。
- (3) 引継ぎ用の「たすき」は、主催者で準備する。(女子:ピンク・男子:青)
- (4) 競技中「たすき」は肩から斜め脇下にかけて走るものとし、肩にかけていない
- (5) 競技者は失格の対象となる。ただし、中継所前後は手に持って走ってもよいが、次走者は、出来るだけ早く肩にかけて走ることにする。
- (6) 「たすき」の引継ぎは中継線より進行方向 20mの引継ぎゾーン内で行い、手から手へ確

実に受け渡すこと。なお、「たすき」を引き継ぐ競技者は、競技時間帯になったら、審判員の指示を受け待機ゾーンに入り、走行中の競技者が陸上競技場内に入ってきたら、自チームの順位を確認し、中継線より進行方向(前方)に位置しなければならない。

- (7) 中継点において「たすき」を渡し終えた競技者は、役員の指示に従って速やかに競技場外へ移動すること。
- (8) 競技者が途中で競技を続行できない状態になった場合に、審判長・医務員等により競技の中止を命じる事ができる。当該チームのその区間以降の競技を無効とする。なお、無効となった区間以前の区間の記録は認められる。
- (9) 第 1 走者のスタートの要領は次の通りである  
スタートの 5 分前、3 分前、1 分前、30 秒前、20 秒前、10 秒前を知らせる。なお、スタート 10 秒前と同時にスターターは英語で合図する。  
競技者は「オン・ユア・マークス」の合図でスタートラインに並び静止、ピストルの合図でスタートする。
- (10) **アスリートビブス及び「たすき」は、必ず返却のこと。**
- (11) 競走には伴走、飲食物の補給その他の助力は一切認めない。

## 5 スタートについて

スタートはプログラム記載順に横一列に並ぶこと。

(走る方向に向かって右側から駅伝の部は、左から並ぶこと。)

学年別で多い場合 2 列になることもある。

## 6 その他

- (1) 競技中生じた事故については応急処置のみ大会本部で行う。
- (2) 競技場内(運動広場)は、指導者(緑ビブス)・保護者は入れません。  
(引率は、招集所の手前までです。)
- (3) 衣類手荷物は、ビニール袋(70ℓ程度)を各自準備し、アスリートビブス番号と氏名を記入し、スタート地点で衣類を入れて所定の位置に置くこと。
- (4) 練習についてクロスカントリーコース(8 時 45 分)まで、競技場(運動広場)は、 8 時 30 分までとします。
- (5) 競技中の伴走や選手走路の横断禁止します。
- (6) 帯同役員は、8 時に TIC 横集合してください。
- (7) 体育館左半面使用ができますが 8 時以降の使用となります。

**※山口市内に暴風雪に関する警報により中止する場合があります。**